

令和5年度 台東区地域包括支援センター事業計画書

	センター名	ページ
1	あさくさ地域包括支援センター	1
2	やなか地域包括支援センター	3
3	みのわ地域包括支援センター	5
4	くらまえ地域包括支援センター	7
5	まつがや地域包括支援センター	9
6	たいとう地域包括支援センター	11
7	ほうらい地域包括支援センター	13

令和 5 年度 [あさくさ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	民生委員の改選に伴い、新たに顔の見える関係づくりや協力関係の強化
②	権利擁護業務	高齢者虐待の通報や対応が増えている
③	総合相談支援業務	介護の必要がない元気な高齢者に対する地域包括支援センターの周知不足

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目 標 向 け た 具 体 的 な 取 組
①	民生委員との関係構築	計画	民生委員ごとの包括職員の担当を継続し、より相談しやすい体制を作っていく。また、新たに就任する民生委員との連絡会を開催し、地域包括支援センターの周知や関係づくりを図る。
		報告	
②	高齢者虐待防止の普及啓発	計画	直接サービス提供を行う介護サービス事業所に虐待防止のための啓発や周知活動を行い、早期発見・早期対応に繋げていく。
		報告	
③	元気な高齢者への地域包括支援センターの普及啓発	計画	生涯学習や趣味のグループ等に参加している元気な高齢者に向けて、出前講座や広報誌等で地域包括支援センターの周知を行い、「転ばぬ先の杖」としての相談窓口となるよう働きかけていく。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○			○	○		11	○	○	1	常	40	○			○	○		12	○	○		
2	常	40	○			○	○		10	○	○	2	常	40	○			○	○		11	○	○		
3	常	40	○			○	○		7	○	○	3	常	40	○			○	○		8	○	○		
4	常	40		○		○			5	○	○	4	常	40		○		○			6	○	○		
5	常	40	○			○	○	○	15	○	○	5	常	40	○			○	○	○	16	○	○		
6	常	40		○	○				6	○	○	6	常	40		○	○				7	○	○		
7	常	40	○						3	○	○	7	常	40	○						4	○	○		
8	非	28				○		○	4		○	8	非	28					○		5		○		
9												9													
10												10													

その他の資格・・・NO. 8 柔道整復師

その他の資格・・・NO. 8 柔道整復師

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 7,523人 (令和4年1月1日時点) あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域ケア個別会議	複数の課題や認知症など困難なケースについて、地域住民や専門職等が集まり、情報の共有や支援方法の検討を行う。	2回	←準備・開催			①	←			②	←			①	②
主催	報告														
見守りネットワーク地区連絡会	第1回目の開催で前年度の実績報告を行う。各回ともにテーマや事例を通し、情報や意見交換を行う。対面開催を基本とするが、感染状況に応じ、書面開催も検討する。	2回 参加者 50人 (延べ)	準備	←		①	準備	←		②	報告	①	②	②	
主催	報告														
広報誌「笑顔の浅草」の発行	各関係機関や区民の来所される場、民生委員等に配付し、情報提供や地域包括支援センターの周知に努める。		←		①					②					
主催	報告														
街づくり懇談会	街づくりに繋がることを意識し、住民及び関連機関から地域の実情を知り、共通の課題等についての意見発表を行う場とする。新型コロナウイルス感染防止対策として、1回の参加人数を制限し、同じテーマで2回開催する。対面開催を基本とするが、感染状況によっては他の開催方法を検討する。	2回 参加者 50人 (延べ)					①	②							
主催	報告														

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数： 35名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネジャーの集い	新型コロナウイルス感染防止対策を行い、感染状況を踏まえ開催方法を検討する。事例検討会・情報交換会・勉強会等を実施し、地域のケアマネジャーの資質向上と横のつながりの強化を図る。	4回	←		①	←			③	←		④	←		
主催・共催	報告														
ケアマネジャーへの支援	主任介護支援専門員連絡会にて、介護支援専門員から地域包括支援センターに寄せられた相談内容の整理・分類方法・シートの作成等を検討する。	-	←												
	報告														

<認知症総合支援事業> エリア内の高齢者人口： 7,523人 (令和4年1月1日時点) あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)																	
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
認知症カフェ(喫茶YOU)	【台東病院・みのわ地域包括支援センター】認知症に関する様々な情報提供・啓発、認知症当事者や家族介護者の交流を目的とし、台東病院・みのわ地域包括支援センターと連携して広く住民にPRを行い、住民が気軽に立ち寄れるよう開催する。	6回 60人 (延べ)	←		①	←		②	←		③	←		④	←		⑤	←		⑥
主催・共催	報告																			
認知症サポーター養成講座	町会、地域のマンションや企業等に講座開催を働きかけ、新型コロナウイルス感染対策を行いながら対面での開催を目指す。開催に至らない場合も、認知症に関する情報発信、啓発活動を行い、ミニ講座なども積極的に行っていく。	2回 40人 (延べ)	←			①	←			②	←									
主催	報告																			
認知症初期集中支援推進事業	事業の構成メンバーとして、対象者の把握から初期集中支援の実施を通し、適切な支援につなげる。	1ケース 以上	←																	
実施	報告																			
介護者サロン(ほのぼのの集い)	在宅介護をされている方や介護経験者が交流を持ち、体験や思いを分かち合い、相互の支え合いを支援するためのサロンを新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で開催する。	12回 60人 (延べ)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫						
主催	報告																			

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)																	
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
	報告																			
	報告																			

令和 5 年度 [やなか] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	民生委員不在の地域や高層マンションの多い地域等で高齢者の見守り機能が低下している
②	権利擁護業務	高齢者虐待の発生が予測されるケースへの早期介入が不十分である
③	総合相談支援業務	災害時活動危険度、火災危険度が高い地域である

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域の高齢者への見守り機能の強化	計画	3店舗 関係機関や地域住民等への広報誌の配布等により地域包括支援センターの役割をわかりやすく周知する。また見守りサポーター養成講座を開催し、圏域型関係協力機関を増やし地域の見守りのネットワークを強化する。
		報告	
②	虐待被害が疑われる高齢者の早期発見、早期対応	計画	— 8050問題や生活困窮などの課題を抱えている事例について、ケアマネジャーや介護支援事業所、保健所や生活困窮者支援担当等と連携し、ケースカンファレンスの開催などにより虐待が発生する前に後方支援を行うよう努力する。
		報告	
③	災害への意識と対応力の強化	計画	100戸 簡易型感震ブレイカーや防火防災診断の啓発、防災ブックの配布、家具転倒防止器具の設置等を特に延焼火災の危険性が著しく高い谷中2・3・5丁目の一人暮らし高齢者について民生委員と連携を図り重点的に啓発していく。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40			○		○		16	○	○	1	常	40			○		○		17	○	○		
2	常	40				○	○		5	○	○	2	常	40				○	○		6	○	○		
3	常	40	○						3	○	○	3	常	40	○						4	○	○		
4	常	40		○	○		○	○	7	○	○	4	常	40		○	○		○	○	8	○	○		
5	非	32				○	○		6		○	5	非	32				○	○		7		○		
6												6													
7												7													
8												8													
9												9													
10												10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 4,215人 (令和4年1月1日時点) やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア 個別会議	計画	2回	←→ ①			←→ ②			←→ ①					
	報告													
見守り ネットワーク 地区連絡会	計画		←→ ①			←→ ②			←→ ①			←→ ②		
	報告													
広報誌の発行 ・ホームページの 活用	計画	4回配布 ホームページ	広報 ①			②			③			④		
	報告		←→ 年間通じてホームページ更新											
出前講座	計画		←→ 要請に応じて随時対応											
	報告													

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数： 7名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャー の集い	計画	4回	←→ ①			←→ ③			←→ ②			←→ ④		
	報告													
介護支援専門員 から受けた相談 の整理・分類	計画	年間 通じて 検討	←→											
	報告													

<認知症総合支援事業>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)																	
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
認知症カフェ (カフェやなか)	計画	6回 60人 (延べ)	①			②			③			④			⑤			⑥		
	報告		←→ 年間通じて周知																	
認知症 サポーター 養成講座	計画	2回 以上	←→ ①			←→ ②			←→ ①			←→ ②			←→ ①			←→ ②		
	報告																			
認知症初期集中支 援推進事業	計画	1ケース 以上	←→ ①																	
	報告																			
認知症の 実態把握 ・早期対応	計画	通年	←→																	
	報告																			

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													

令和 5 年度 [みのわ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	自ら相談できず、地域で孤立している高齢者や介護者が増加している。
②	介護予防 ケアマネジメント	交流の場が減少したことで閉じこもりの高齢者が増加した。
③	認知症総合支援事業	認知症当事者、介護者への支援・交流の場が不足している。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域で孤立している高齢者や介護者の早期発見・対応の強化	計画	深刻なケースになる前に訪問等を迅速に行い、継続的な支援をしていく。また広報誌や出前講座、ホームページを活用し周知活動を積極的に行い、相談しやすい環境を整えていく。
		報告	
②	地域での集いの場・介護予防の場を増やす	計画	地域住民や関係機関と協働し、介護予防活動や交流の場を提供していく。銭湯の空き時間や包括センターのロビーを活用し来所しやすい環境をつくる。すでにある介護予防教室などの情報提供も強化する。
		報告	
③	認知症の方、介護者支援を強化する	計画	喫茶YOU(認知症カフェ)、みのわカフェ、リフレッシュタイムを定期的に行い認知症の方や家族介護者の相談や交流の場を提供していく。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2		
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他
1	常	40	○			○			○	8	○	○	1	常	40	○					○			○	9	○	○
2	常	40	○						○	17	○	○	2	常	40	○								○	18	○	○
3	常	40					○	○		1	○	○	3	常	40						○	○		2	○	○	
4	常	40					○	○		5	○	○	4	常	40						○	○		6	○	○	
5	常	40			○					7	○	○	5	常	40				○		○			8	○	○	
6	常	40	○							7	○	○	6	常	40	○								8	○	○	
7	非	32	○					○		5	○	○	7	非	32	○					○			6	○	○	
8													8														
9													9														
10													10														

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 6,528人 (令和4年1月1日時点) みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア 個別会議	計画	個別課題のケース検討を通して、関係機関と地域課題を検討し、高齢者支援の充実を図る。	① 計画・開催				② 計画・開催				① 評価			
	報告													
主催	報告													
見守り ネットワーク 地区連絡会	計画	見守りネットワーク関係協力機関と地域の見守りや災害、地域課題等を共有し、顔の見える関係づくりを強化する。	→				→							
	報告													
主催	報告	2回												
周知活動	計画	広報誌の配布やホームページの更新、ラジオ体操、熱中症予防喚起訪問、出前講座等により地域包括支援センターの周知・啓発活動をおこなう。	→ 広報誌			→ 広報誌			→ 広報誌					
	報告													
主催	報告	広報誌配布年3回 ラジオ体操年2回												
地域・場づくり 事業	計画	リフレッシュタイム、みのわ介護予防体操、改菜湯での集いの場、大人の元気度チェックを通して介護予防の普及に努める。また新たな場づくりの拡大を図る。	→											
	報告													
主催	報告	通いの場支援年40回 通いの場づくり 随時												

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数： 24名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャー の集い	計画	ケアマネジメントに必要な周辺領域の専門職による講義やグループワーク、事例検討を感染予防に留意しながら行う。	①				② 合同				③			
	報告													
主催・共催	報告	4回												
介護支援専門員 から受けた相談 の整理・分類	計画	介護支援専門員から受けた相談内容を整理・分類する方法の検討を7包括の主任介護支援専門員連絡会で行う。	→											
	報告													
共催	報告													

<認知症総合支援事業> みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ (喫茶YOU)	計画	【台東病院・あさくさ地域包括支援センター】認知症に関する知識や様々な情報提供・啓発や認知症当事者や家族介護者の交流を目的とし、台東病院・あさくさ地域包括支援センターと連携して広く住民にPRを行い住民が気軽に立ち寄れるよう開催する。	← ①		← ②		← ③		← ④		← ⑤		← ⑥	
	報告													
共催	報告	6回 60人												
認知症カフェ (みのわかフェ)	計画	認知症当事者や家族介護者が気軽に集い、交流・相談できる場を提供する。また、近隣のグループホームや居宅介護支援事業所、通所介護サービス事業所へ協力を仰ぎながら実施する。	← ①		← ②		← ③						← ④	
	報告													
主催	報告	4回												
認知症 サポーター 養成講座	計画	町会や各事業所等へ講座の案内を行い、集合型もしくはオンラインで開催する。	→											
	報告													
主催・共催	報告	4回												
認知症の 普及啓発活動	計画	地域で認知症の方や家族を支えるため、認知症や介護に関する講座を町会や各種団体と連携して開催し普及啓発活動を行う。	→											
	報告													
主催・共催	報告	2回												
認知症初期集中 支援事業	計画	認知症の疑いのある方に対して訪問等を迅速に行い、医療や介護に繋げる。	→											
	報告													
実施	報告	1ケース												

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	支援が必要な方を早期に発見し、適切なサービス等につなげる体制を強化する必要がある。
②	権利擁護業務	独居で身寄りのない高齢者が増加している。
③		

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	介護保険認定申請の後追いと新規相談の経過確認	計画	—	認定結果の確認とサービス利用について意向を確認。相談のみで終了している新規ケースについて、その後の経過を確認。必要なサービス等の提案を継続的に行う。
		報告		
②	成年後見制度など必要な支援が早期に受けられるように支援・提案を行う。	計画	—	緊急連絡先など早期に親族の把握に努め、必要に応じて成年後見制度・地域福祉権利擁護事業利用の提案や勧奨を行う。また、関係機関であるリーガルサポート・社会福祉協議会等とのネットワーク強化を図る。
		報告		
③		計画		
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○			○	○		13	○	○	1	常	40	○				○	○		14	○	○	
2	常	40	○			○	○		11	○	○	2	常	40	○			○	○		○	12	○	○	
3	常	40	○			○	○		7	○	○	3	常	40	○			○	○		8	○	○		
4	常	40	○			○			6	○	○	4	常	40	○			○			7	○	○		
5	常	40			○	○			7	○	○	5	常	40			○	○			8	○	○		
6	非	40				○			6		○	6	非	40				○			7		○		
7												7													
8												8													
9												9													
10												10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 7,382人 (令和4年1月1日時点)

くらまえ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画 個別ケース（支援困難、複合的課題、地域連携が必要なケース等）を各専門職からの視点で検討を行い、地域課題の抽出につなげていく。	2回			←→ ① 準備 開催					←→ ② 準備 開催				
主催	報告													
見守りネットワーク地区連絡会	計画 民生委員等の関係協力機関と協力しながら地域を訪問、見守りが必要な対象者の早期発見に努める。配布物を活用し、熱中症予防の周知を強化。連絡会は集合での開催を基本とする。	2回		←→ ① 準備 開催							←→ ② 準備 開催			
主催	報告													
出張相談（えがおの集い）	計画 老人福祉館で地域の高齢者の生活に役立つ講話と出張相談を実施。必要に応じて介護認定・介護サービス・その他社会資源へのつなぎ・地域包括支援センターの役割を周知していく。	講話年4回。出張相談毎月。	出張相談 ←→											
共催	報告		① 開催	←→ ② 準備 開催	←→ ③ 準備 開催	←→ ④ 準備 開催	←→ 準備							
広報誌の発行	計画 介護保険・台東区のサービスや健康に関する情報発信を行う。訪問時や出前講座等において、地域包括支援センターの周知にも活用。関係機関や窓口でも配布する。	2回 200部		←→ ① 準備 発行					←→ ② 準備 発行					
主催	報告													

<ケアマネジャー支援>

エリア内の居宅介護支援事業所数： 12カ所 介護支援専門員数： 31名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャーの集い	計画 介護支援専門員のスキルアップを図るため、事例検討会・各種研修会を開催する。また、専門職との相互理解や連携を強化するための研修会を開催する。(2回は7包括共催とする。)	4回	←→ ① 7包括合同					←→ ③ 7包括合同						
主催・共催	報告													
介護支援専門員から受けた相談の整理・分類	計画 介護支援専門員から受けた相談内容を整理・分類する方法を7包括の主任介護支援専門員連絡会で検討する。	通年	←→											
共催	報告													

<認知症総合支援事業>

くらまえ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ（くらまえカフェ）	計画 東京トータルライフクリニックと共催。奇数月に開催予定。開催回数については状況に合わせて変更。募集方法や実施内容、人数の再検討も行ない、充実した集いにしていく。	6回 (約70人)	準備	① 準備	② 準備	③ 準備	④ 準備	⑤ 準備	⑥ 準備					
共催	報告													
認知症啓発活動	計画 地域住民・企業・学校等に対し、認知症サポーター養成講座を開催する。地域住民の認知症に対する理解を深めるため、シニアクラブや町会、老人福祉館での集い等を活用し、認知症講座(出前講座)や相談会等を企画・実施していく。	3回	① ② ③ ←→ 地域への働きかけ(通年) →											
主催	報告													
認知症高齢者の早期発見・早期対応	計画 認知症高齢者の早期発見のため、地域住民・民生委員・町会・シニアクラブ・集合住宅の管理人・関係機関等と連携し、認知症の疑いがある高齢者の実態把握に努める。また必要に応じ個別支援を開始する。	通年	←→											
主催	報告													
認知症初期集中支援推進事業	計画 相談や実態把握を行う中で、事業の対象と思われるケースについて早期発見・早期対応ができるように支援を行う。対象者の把握から、初期集中支援の実施を通して、各機関との連携を通じ、適切な支援に早期に繋げていく。	1ケース以上	←→											
実施	報告													

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													

令和 5 年度 [まつがや] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	相談件数が増加し、内容も複雑化している。チームケアを強化し多面的に対応する必要がある。
②	認知症総合支援事業	認知症の方やそのご家族が定期的に相談できる小規模の場やひと息つける場が少ない。
③		

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	見守りネットワーク機関との継続的な協力体制の強化を図る。	計画	—	8050問題等家族・介護者支援のサポートを含め包括職員での複数対応や見守りネットワーク関係機関と経過を追った情報共有を行う。
		報告		
②	認知症の方、その家族が気軽につどえる環境をつくる。	計画	3回	既存のサロン活動の中に、認知症に関する情報提供等を加え、認知症の方、家族、興味のある方誰でも気軽に参加できほっとひと息できる環境を整える。
		報告		
③		計画		
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○			○	○			10	○	○	1	常	40	○			○	○			11	○	○
2	常	40	○		○		○			14	○	○	2	常	40	○		○		○			15	○	○
3	常	40	○				○	○	○	7	○	○	3	常	40	○				○	○		8	○	○
4	常	40		○	○				○	16	○	○	4	常	40					○	○	○	14	○	○
5	常	40					○		○	13	○	○	5	常	40				○	○		○	3	○	○
6	常	40				○	○		○	2	○	○	6	非	32					○	○		11	○	○
7	非	32					○		○	10	○	○	7	非	32	○					○	○	3	○	○
8	非	32	○				○		○	2	○	○	8												
9													9												
10													10												

その他の資格・・・ 4助産師5幼稚園教諭6栄養士

その他の資格・・・ 4幼稚園教諭5栄養士

令和 5 年度 [たいとう] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 聖風会 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	高齢者の身近な相談窓口であることが十分に周知されていない状況。
② 在宅医療・介護連携推進事業	ケアマネジャー等のアンケート結果で、多職種連携強化を希望する意見があり、多職種連携をテーマに研修・懇談会を開催していく。
③ 権利擁護業務	成年後見制度の利用促進にあたり、受任可能な専門職団体等との連携が図れていない。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域包括支援センターの周知	計画 広報誌 2回 講座 2回	地域住民、関係団体へ広報誌の発行および出前講座を行い、周知に努める。町会の会議等に参加し、普及活動に力を入れたい。
		報告	
②	事業所間で顔の見える関係性を構築・強化していく。	計画 懇談会等 2回	ケアマネジャーの集いや包括主催の多職種懇談会を開催し、各事業所のエリア内で顔の見える関係性を強化していく。今年度は医療職との連携を強化した取り組み（懇談会等）を実施していく。
		報告	
③	成年後見制度の利用促進	計画 -	成年後見人等、候補者を推薦できる団体との連携・ネットワークを構築する。ケースの解決すべく課題ごとに依頼する専門職を区と包括センター内で検討する。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40	○			○				14	○	○	1	常	40	○				○				15	○	○
2	常	40	○			○		○	○	11	○	○	2	常	40	○				○	○	○		12	○	○
3	常	40	○				○	○	○	6	○	○	3	常	40	○				○	○			7	○	○
4	常	40	○				○	○		6	○	○	4	常	40			○		○				4	○	○
5	常	40			○		○			3	○	○	5	常	40					○		○	○	8	○	○
6	常	40				○		○	○	7	○	○	6	常	40		○							2	○	○
7	常	40		○						1	○	○	7													
8													8													
9													9													
10													10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 5,656人 (令和4年1月1日時点) たいとう 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
地域ケア個別会議	個別課題から、地域課題の抽出・社会資源の現状把握をする。地域作りに生かせるよう、社会資源の開発・ネットワークの構築の機会にする。	1回								①							
主催	報告																①
見守りネットワーク地区連絡会	前年度、新たに加わった見守り協力機関のフォローアップ、圏域型関係協力機関の普及・強化を目的とした啓発活動(企業・お店訪問・見守りサポーター養成講座等)を実施。また、年2回の連絡会(内1回は事例検討会)を開催予定(開催形態は感染状況を考慮し検討)	2回	①						②								
主催	報告																
広報誌の発行	関係機関・地域住民向けに包括の周知とネットワークづくりのため、配布を行う。	2回	①						②								
主催	報告																
	計画																
	報告																

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 8カ所 介護支援専門員数： 20名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
ケアマネジャーの集い	多職種連携をテーマに地域のケアマネジャーの資質向上のために、研修等を開催予定。R5年度は介護保険制度の改定も予定しているため、改定内容等を意識した研修内容にしていく。研修形態については新型コロナウイルス感染状況を鑑み検討していく。				①					③							
	報告																
	計画																
	報告																

<認知症総合支援事業> たいとう 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
認知症カフェ(オレンジカフェ)	【永寿総合病院認知症疾患医療センター・まつがや地域包括支援センター】認知症の方やその家族、地域住民や認知症に関心のある方など誰でも気軽に集える場作りに取り組む。※台東区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿って行う	6回		①		②		③		④		⑤		⑥			
共催	報告																
認知症サポーター養成講座	町会や地域住民、マンション等へはチラシなどで働きかけを行い、企業からの依頼は積極的に受け、講座にて認知症の理解を深めていく。他の出前講座の中にも組み込みミニ講座も行う。	2回以上															
主催	報告																
初期集中支援チーム参画	家族、地域住民からの相談により、対象者の把握から早期介入を実施し適切なケアに繋げる。	1事例															
実施	報告																
	計画																
	報告																

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
	報告																
	報告																

令和 5 年度 [ほうらい] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 清峰会 】

◇今年度の重点課題

①	生活支援体制整備事業	地域住民主体による通いの場が立ち上がっていない。
②	総合相談支援業務	要支援・要介護認定が出ているが、サービスにつながない人の把握ができていない。
③		

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	通いの場を立ち上げる	計画	1	高齢福祉課、東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター、生活支援コーディネーターや地域住民と協力し、地域の特性を活かした通いの場を立ち上げる。
		報告		
②	包括で介護保険申請をした人に連絡をとり、サービス利用の有無を確認する。	計画	-	職員間で記録を確認し、支援につながない人を把握し継続的に支援する。
		報告		
③		計画		
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2		
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他
1	常	40	○							10	○	○	1	常	40	○								11	○	○	
2	常	40	○			○		○	○	9	○	○	2	常	40	○				○	○	○			10	○	○
3	常	40			○					9	○	○	3	常	40				○						10	○	○
4	常	40	○					○		4	○	○	4	常	40	○					○				5	○	○
5	常	40		○	○		○			5	○	○	5	常	40		○	○		○					6	○	○
6													6	常	40					○	○				0	○	○
7													7														
8													8														
9													9														
10													10														

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 6,175人 (令和4年1月1日時点) ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	個別ケースの課題分析等の積み重ねにより、地域課題を発見し、地域に必要な資源開発や地域づくりにつなげる。会議開催の際には新型コロナウイルスの感染状況に応じた対応を行う。	2回	←→ ①			←→ ②								
主催	報告													
見守りネットワーク地区連絡会	日常の見守りについて関係者との意見交換や事例検討を行う。開催方法は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し適切な方法を選択していく。	2回 参加者 50人 (延べ)	←→ ①			←→ ②								
主催	報告													
通いの場を立ち上げる	関係機関と打ち合わせを重ね、地域住民や地域の介護事業所とも協力して通いの場を立ち上げる。	1か所	←→ 随時											
共催	報告													
認知症の人の社会参加支援	認知症サポーター養成講座を受講したアーティストと協働し、アートを活用して認知症の人がのびのびと参加できる場づくりに協力する。	1回 参加者 10名										←→ 実施		
参加	報告													

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数： 6名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャーの集い	地域のケアマネジャーとの意見交換の場、社会資源の活用について情報共有を行う。多職種連携や地域の情報提供を目的に開催する。同様に7包括合同で開催する。(年2回) ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から随時参集・オンライン・書面開催で行う。	参加者 2回(延べ 40人) 共催 2回 (延べ90 人)	←→ ①			←→ ③								
主催・共催	報告													
地域連携を勧める会	NPO団体や医療機関、介護事業所と共催で研修会や意見交換会を開き地域のネットワークを強化していく。開催にあたっては新型コロナウイルスの状況に応じてオンラインを活用する。	6回	←→ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥											
共催	報告													

<認知症総合支援事業> ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ(あさがおカフェ)	【浅草病院】認知症の本人、家族、地域住民等が気軽に参加できる場を浅草病院と共催で運営する。認知症サポーターのボランティアを活用する。新型コロナウイルス感染状況に応じて適切な感染対策を行う。	6回 参加者 60名(延 べ)	←→ ①		←→ ②		←→ ③		←→ ④		←→ ⑤		←→ ⑥			
共催	報告															
認知症の普及啓発活動(認知症サポーター養成講座)	地域住民や企業など様々な人に向けて、認知症サポーター養成講座や出前講座を実施する。新型コロナウイルス感染状況に応じて適切な感染対策を行う。	4回 参加者 60名(延 べ)	←→ ①			←→ ②			←→ ③			←→ ④				
主催・共催	報告															
認知症初期集中支援チーム	認知症の困難事例を推進員と他の職員で情報共有し、積極的に事例選定を行う。チーム員として訪問支援を行い、医療・介護サービスに繋げていく。	1ケース 以上	←→ ①													
実施	報告															
認知症家族介護者教室	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室の協力を得て、臨床心理士、訪問看護師等と連携して開催する。専門職向けの勉強会を企画し、周知活動を行う。新型コロナウイルス感染状況に応じて適切な感染対策を行う。	2回 参加者 12名(延 べ)	←→ ①		←→ 勉強会			←→ ②								
主催	報告															

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													